



The 8th General Conference
of EASTICA & Seminar
2007, 10, Tokyo

EASTICA第8回総会およびセミナー閉会にあたって

菊池光興

EASTICA新議長・ICA副会長

独立行政法人国立公文書館館長

国際公文書館会議東アジア地域支部（EASTICA）第8回総会・セミナーの閉会式にあたり、主催者を代表いたしまして、また、昨日の総会で選出されました EASTICA 新議長として、一言御挨拶申し上げます。

皆様の積極的なご参加とご協力により、第8回総会・セミナーのプログラムは、順調に進んでおります。このことについて、何よりもまず、皆様に御礼を申し上げます。また、昨日、大変示唆に富む基調講演をして下さった、アメリカ国立公文書記録管理局のケネス・ティボドー博士、そして、本日この場にいらっやいませんが、筑波大学大学院の杉本重雄先生に、改めて感謝の気持ちを表したいと思えます。

今回の総会・セミナーは、「電子政府化の進展と電子記録管理」をテーマとしています。前世紀の最後の10年間、世界各国では、電子政府化への流れが急速に強まりました。そして、この流れは、今世紀に入り、さらに加速しています。これに伴って、電子記録も幾何級数的に増大しつづけています。

増大し続ける電子記録を適切に管理するためには、我々は何をすれば良いのか。これは、記録及びアーカイブズの作成・管理・保存・利用に関わる者全て、なかでも、アーカイブ機関、そしてアーキビストやレコード・マネージャーが直面しているきわめて重大な問題です。端的に言えば、この問いに対する完璧な回答は、まだ誰も手にしていないと言えるでしょう。しかしながら、手を拱いていることは許されません。どのような問題点があるのかを出来るだけ具体的かつ詳細に把握すること、「今、何が出来るのか」を明確にすること、そして、「出来ることから始める」こと、これらが、今私たちのなすべきことでしょう。そのような意味において、昨日のティボドー博士及び杉本先生の基調講演、そして本日午前のカントリー・レポートは、一参加者としての私にとって、大変勉強になりましたし、おそらく、ご参加の皆様も、私と同じ思いを抱いていらっやるであろうと思えます。

さて、本日午後には、シンポジウム「デジタル時代のアーカイブ - アジアからの発信 -」を開催いたします。このシンポジウムでは、EASTICA総会・セミナーにおける新たな試みとして、このシンポジウムのみに参加を希望された方々を（聴衆として）お迎えすることと致しました。こゝまで総会・セミナーに参加されてこられた皆様は、既にお互いに交流を深められたことと思えますが、午後のシンポジウムでは、さらに直面する今日的課題についての理解を深めていただきたい。

次に、今日私は、中国国家档案局の楊 冬権（Yang Dongquan）局長の後任として EASTICA 議長の任を担うことになりました。その立場から今後の EASTICA の活動について、申し述べたいと思えます。

まず、来年のセミナーは、韓国国立公文書館の曹 潤明 (Cho Yoon Myong) 館長から開催のお申し出を頂きました。曹 (CHO) 館長は、他の用務のため既に帰国されていますが、韓国国立公文書館の温かい申し出に感謝申し上げます。皆様にお礼申し上げますとともに、城南 (ソナム) 新館の建設に象徴されるように、充実した活動を日々行われている皆様のことですので、来年のセミナーの成功を心から期待します。

また、EASTICA は、香港大学と共催で、既卒者向けアーカイブズ学講座 (Postgraduate Certificate on Archival Studies) を今年に引き続き来年も開催することとしています。記録とアーカイブズの管理に関わる最新の専門的知識を全般的に学べると同時に、東アジアのアーカイブ機関や図書館、研究機関などで働くアーキビストやレコード・マネージャーなどが相互に知り合い、語り合うことができる貴重な機会でもあります。できるだけ多くの受講者の参加により、この取り組みを継続してまいりたい。

さらに、さきほどシャフィーさんからご紹介がありました通り、来年は、マレーシア国立公文書館の主催により ICA 大会がクアラルンプールで開催されます。私は、EASTICA 議長として、そして ICA 第 1 副会長として、同じアジアのマレーシアで開かれる ICA 大会への東アジアの皆様の幅広い参加を呼びかけます。アジアから世界のアーカイブ・コミュニティに対して貢献し、ICA とその地域支部である EASTICA との結びつきを更に強化する絶好の機会であると考えます。これに関連して、ICA が新たに構築したウェブサイト上での EASTICA の広報活動及び相互の情報交換の強化も図っていきたいと思いますので、皆様のご協力をお願い申し上げます。

最後に、もう一度、ご参加の皆様のご協力に感謝申し上げます。以上をもちまして、閉会の御挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。